

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2丁目1-1
広島工業大学 工学部 環境土木工学科 風早悟史研究室内
会長室：〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52番1号
静岡県立大学 国際関係学部 国際言語文化学科 澤田敬人研究室内
学会HP：http://www.hikakubunka.jp/

《会長 巻頭言》

日本比較文化学会会長 澤田 敬人

会長を拝命して2年目となりました。会員の皆様より運営にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。今年度開催した全国大会・国際学術大会、各支部が開催する支部例会、支部大会、支部合同の大会と充実した研究発表の場を作って会員の皆様にお集まりいただき、学問分野の発展と会員相互の切磋琢磨と親睦のためにご尽力いただいています。

今年度の総会では、会費納入のためのクレジットカードを利用するシステムを提案いたしました。ご承認いただきありがとうございます。総会の時にいただいたご意見を、システム構築に向けた作業の中で反映させました。今後はクレジットカードの利用が可能となり、会費納入のお手間が軽減されるはずですが、また、このクレジットカード利用の機能を始めるにあたり、学会のホームページに会員ページを増設しますので趣が変わります。

これまで学会運営に携われてこられた会員の方々には、貴重な研究時間を削ってお力添えいただいているかと思うと、頼もしくもいささか心苦しく感じます。さらに多くの会員の皆様に業務を分担していただければと思います。教育研究機関等にお勤めの皆様におかれては、何に時間をかけ、何ができる人なのかと組織の中で色づけられこともあるかと思えます。実際はバランスよく費やす時間を分散させているかもしれません。教育・研究・学内・社会および学会への貢献のそれぞれのエフォートを報告することが義務となっている大学もあるでしょう。

研究を生活の中心に据え、費やすことのできる時間を思い切って研究に振り分けることはなかなか難しいです。自分の暮らしを振り返ってそのように思います。ワークライフバランスの標語も聞こえてきます。そのような状況の中、学会で積み上げた研究業績と高い評価を根拠に、教育研究機関等でカリキュラムや授業内容の充実に還元することができれば立派なキャリアパスに通じると思えます。それを支えるのが学会運営をする者の喜びであります。

会長就任前に高校生から当学会への関心が寄せられたとうかがいました。先ごろ私と事務局長のもとにも高校生から聴講希望の問い合わせが届きました。面白そうな研究をしている学会があると気づき、関心がある旨を学会に伝えて参加を希望したとのこと。ありがたいことで、その高校生の将来が楽しみです。学会の外側との関係にも意識を向けつつ、今後ともよろしく願います。

《日本比較文化学会第 48 回全国大会・2026 年度国際学術大会開催のお知らせ》

大会準備委員長 山内 信幸（関西支部長）

日本比較文化学会会員の皆様方、ますますご活躍のことと存じます。標記の大会が、2026 年 5 月 23 日（土）に同志社大学今出川キャンパス「良心館」で開催されます。【日程変更がありましたので、ご注意ください。また、役員の皆様におかれましては、前日の午後、編集委員会と理事会が開催されますので、ご予約ください。】

今回のシンポジウムのテーマは、「次世代の、次世代による、次世代のための比較文化研究」ということで、第 2・第 3 世代の皆さんから、組織としてあるいは個人として、また、研究面や教育面、さらには、運営面からの多くの提言や振り返りをいただき、本学会がさらなる発展を遂げるための「橋渡し」がスムーズに行われる機会となることを願っています。

研究発表応募要領の詳細につきましては、2025 年 11 月頃を目途に、本学会 HP において、告知するようにいたします。

なお、当日は、大学の学食もオープンしており、近隣の飲食店も利用可能ですが、必要な方には、事前振り込みで昼食をご準備いたします。また、懇親会につきましても、二条木屋町にある角倉了以や山縣有朋ともゆかりのある広大な敷地と名庭園で有名な「がんこ二条苑」で開催いたします。こちらについても、事前振り込みで受付いたします。会場準備の都合上、定員に達し次第、打ち止めとさせていただきますので、ご予約の方は早めに忘れずにお申し込みください。両件とも、申し込み締め切りは、2026 年 4 月末日とさせていただきます。詳細は学会 HP をご確認ください。

ご承知おきの通り、最近の京都は、ホテルの宿泊代も高騰し、予約がなかなかとりにくい状況になっています。ご来洛のご予定のある皆様方には、ぜひ早めにご対応ください。京都での皆さんとの再会を楽しみにしております。

《大会報告：日本比較文化学会第 47 回全国大会・2025 年度国際学術大会》

大会実行委員長 轟木 靖子（中国・四国支部長）

2025 年 5 月 17 日（土）、第 47 回全国大会・2025 年度国際学術大会が香川大学教育学部（幸町キャンパス）で開催されました。午前の部のシンポジウムでは「比較文化の地域性と新たな視点の創造」をテーマに、曾秋桂先生、奥村訓代先生、栢山剛先生にご登壇いただき、様々な立場から比較文化の地域性についての知見をふまえ、活発な意見交換がおこなわれました。その後の前田秀雄氏の講演では、「手書き」を体感していただくために、参加者の方々に半紙と筆ペンで実際に手紙を書いてもらうという活動もあり、印象深い時間を過ごしていただけたかと思います。

午後の部は 8 会場で 44 件の研究発表がありました。入念に準備された発表、活発なディスカッション、その後の懇親会にも多くの方にご参加いただき、研究の交流、親交を深める機会となりましたことたいへん嬉しく思います。

四国での開催ということで、当初どのくらいの方が参加して下さるか心配しておりましたが、幸い天候にも恵まれ、約 90 名もの方に足をお運びいただきました。ご参加いただいたすべての方に支部役員一同心より御礼申し上げます。一部不手際のためご迷惑をおかけした方もいらっしゃるかと思いますが、どうぞご容赦いただければ幸いです。

来年は関西支部での開催となります。益々のご盛会となりますよう、心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

《編集委員会報告》

編集委員長 中村 友紀

編集委員会からのご報告は下記2点です。(1) 2025年度日本比較文化学会奨励賞は、該当なしとなりました。2026年度は発展性ある論文を学会として顕彰できますことを期待しております。(2) 学会誌『比較文化研究』の原稿の書式に一定の統一性を持たせるために、書式のガイドラインを作成しました。当学会の学際的性格を考え、APAやMLAなど各領域それぞれで通用している諸スタイルを許容しつつ、大枠でのスタイル統一を目的としています。これは投稿規程のような規則としての位置づけではなく、あくまでも指針として運用します。査読では、書式が整っているかという点も判定材料にしますので、ご投稿の際には、原稿の書式がガイドラインに沿っているかご確認ください。

《総会報告》

事務局長 風早 悟史

2025年5月17日(土)に香川大学にて開催した日本比較文化学会総会の議事録を以下に報告します。

【報告】

1. 会員の動向：全会員数(2025年5月1日現在) 580名
2. 編集委員会：2025年度奨励賞については該当者なし。『比較文化研究』の投稿規定とは別に、入稿時の原稿の書式を統一するための「ガイドライン」を設定し、編集委員会で運用していくことが報告された。

【議事】

1. 人事：一部理事の退任とそれに伴う新理事の就任について原案通り承認された。
2. クレジットカードによる会員・会費システムについて：支部会費管理機能も含むシステムの導入をすすめることが承認された。
3. 第48回全国大会・2026年度国際学術大会開催の件：承認
 - ・日程：2026年5月23日(土)
 - ・会場校：同志社大学今出川キャンパス
 - ・大会準備委員長：山内 信幸
 - ・シンポジウムのテーマ：「次世代の、次世代による、次世代のための比較文化研究」
 - ・今後の全国大会主催支部のローテーションについて：
関西(2026) → 九州(2027) → 関東(2028) → 東北(2029) → 北海道(2030)
→ 中部(2031)
4. 2024年度会計決算の件：承認
5. 2025年度会計予算の件：承認

*2024年度決算・2025年度予算報告は巻末(p.8)に掲載しております。

《支部報告》

北海道支部

*【お知らせ】北海道支部研究発表会・北洋大学市民講座

日時：2025年10月25日(土) 12:00-18:00

場所：北洋大学(北海道苫小牧市錦西町3-2-1) C102 中講義室

発表会プログラムは未定です。プログラムが決まり次第学会HPでお知らせいたします。

* **【お知らせ】** 北海道支部総会・大会開催予定

日時：2026年3月開催予定

その他の事項は未定です。詳細が決まり次第学会HPでお知らせいたします。

支部長 奥村 訓代

東北支部

* **【報告】** 東北・関東支部合同研究大会

日時：2025年9月13日（土）13:00-

場所：仙台市戦災復興記念館

プログラム

1. 研究発表

- (1) 中園 大樹（慶應義塾大学大学院）「茶道における「わび」概念の現代的展開－語彙史的検証による文化政策調査の学術的検討－」
- (2) 陳 志文（台湾 国立高雄大学）「現代日本語における四字漢語の構造について－漢語動名詞用法を中心として」
- (3) 董 航（環太平洋大学）「海外ルーツ中高年層の地域社会への参加－東京近郊ベッドタウン市川市の支援ニーズ分析－」
- (4) 田中 真奈美（東京未来大学）「和歌山県アメリカ村の文化継承の取り組み」
- (5) 遠山 一明（横浜市立大学大学院）「儒教文化と世間－日本・中国・韓国の文化の比較から見えるもの－」
- (6) INNA SYAHIDA INAYAH（東北大学大学院）「日本語とインドネシア語における意見表明の談話分析－ポライトネスの観点から－」
- (7) 孫 芳（東北大学）「モデルテキストによる授業外ライティング支援の有効性」
- (8) 阿部 純（石巻専修大学）・増渕 佑亮（常磐大学）「街歩きを取り入れた大学英語教育の実践－学生の動機付けに及ぼす効果に注目して－」
- (9) 范 文瓊（東北大学大学院）「自然主義の越境と変容－夏巧尊『長閑』と日本私小説の比較－」

支部長 高橋 栄作

関東支部

* **【報告】** 第64回 関東支部例会・2024年度関東支部総会

日時：2025年3月8日（土）13:00-

場所：東京未来大学 A104/105/204 教室

プログラム

- (1) 飯山 ももこ（放送大学大学院）「うたごえ運動における〈共に踊る〉」
- (2) 田中 則広（淑徳大学）「福音と情報の架け橋－韓国の教会と北朝鮮向けラジオ放送－」
- (3) 桶田 由衣（日本大学）「知識、善悪、キリスト教－John Milton の Thomas Arnold への影響」
- (4) 相馬 法仁（笠間市役所）「旧茨城県庁舎の外観デザインに関する分析－欧米建築と比較して－」
- (5) 劉 晶洋（宇都宮大学大学院）「明治期における関羽表象の変遷に関する－考察－日清戦争前後を中心にして－」

支部例会終了後に「2024年度関東支部総会」を開催し、2025年度の活動計画が承認された。

- ・2025年5月：全国大会（香川大学・高松市）
- ・2025年8-9月：支部例会（東北支部との合同例会を予定）
- ・2025年11-12月：支部例会（岐阜聖徳学園大学・岐阜市）
- ・2026年3月：支部例会・2025年度支部総会（東京未来大学・足立区）

* **【お知らせ】** 第66回関東支部例会

日時：2025年12月8日（土）13:00-18:00

支部長代理 郭 潔蓉

中部支部

* **【報告】** 日本比較文化学会中部支部第14回支部大会

日時：2025（令和7）年9月28日（日）

場所：椋山女学園大学 星が丘キャンパス（オンライン併用）

日本比較文化学会中部支部大会が開催されました。会場（椋山女学園大学）とオンラインのハイブリッド開催となり、各発表では活発な議論が交わされました。小規模ながら充実した内容でした。
プログラム（抜粋）

1. 開会の挨拶（中部支部長 樋口 謙一郎）
2. 特別講演 朴 成柱（愛知医科大学）「繰り返される家族の記憶—深沢夏衣の作品を中心に」
3. 自由研究発表
- (1) Khomenko Nataliia（筑波大学大学院）「村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』における少女の表象—1980年代の「可愛い」少女像をめぐって—」
- (2) 水町 いおり（中京大学）「『ボヴァリー夫人』再読—あるいはシャルルの物語—」
- (3) 長谷川 千春（至学館大学）「野球映画における異文化交錯：戦士とスポーツ選手の現代メディア表象」
- (4) 松家 鮎美（岐阜薬科大学）「第二言語不安に起因する大学生の英語コミュニケーション課題と教育的介入」
- (5) 二村 洋輔（名城大学）「記憶・忘却・イデオロギー：シンガポールとマレーシアの国立博物館の比較から」
- (6) 田島 喜代美（常葉大学）・津村 公博（浜松学院大学）「大学生による伝統芸能『勝坂神楽』の継承—SWOT分析に基づく考察」
- (7) 樋口 謙一郎（椋山女学園大学）「歴史の『忘却』を考える：バタムと日本軍」

支部長 樋口 謙一郎

関西支部

* **【報告】** 日本比較文化学会関西支部3月例会

日時：2025年3月9日（土）13:30-17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 寧静館 N34・N35 番教室

プログラム

1. 研究発表（13:30-15:45）
（寧静館 N34 番教室）
- (1) 井原 彩樺（同志社大学 [学部生]）・山内信幸（同志社大学）「国語教育における助詞「は」に関する一考察—意味分類を中心に—」
- (2) Nguyen Thi My（兵庫教育大学大学院）「日本語とベトナム語における「犬」に関することわざの対照研究」
- (3) 佐古 恵里香（流通科学大学）・山内信幸（同志社大学）「視覚イメージによる言語項目および文化項目の浸透過程のモデル化—結びつきの機能に着目して—」
- (4) 橋尾 晋平（名古屋外国語大学）「コミュニケーション能力養成を視座に入れた物語文を教材としたリーディングの授業に関する一考察」

(寧静館 N35 番教室)

- (1) 史 蕊 (広島大学大学院) 「中国における太宰治文学紹介の〈復活期〉に関する研究—その全体的様相および形成の背景を中心に—」
 - (2) 蘇 文博 (総合研究大学院大学) 「『朝鮮策略』からみる黄遵憲の外交思想—中華世界秩序から勢力均衡へ—」
 - (3) 渡邊 理恵子 (奈良女子大学大学院) 「Anne Brontë の詩における男性像」
2. 講演 (16:00-16:50) (寧静館 N34 番教室)
田口 哲也先生 (同志社大学文化情報学部教授) 「ダンテとケネス・レクスロスの世界」
3. 閉会 (16:50-17:00) (寧静館 N34 番教室)
山内 信幸 (日本比較文化学会関西支部長)

* **【お知らせ】** 関西支部 10 月例会

日時：2025 年 10 月 25 日 (土)
会場：同志社大学今出川キャンパス

* **【お知らせ】** 2025 年度九州支部・中国・四国支部・関西支部 3 支部合同例会

日時：2025 年 12 月 6 日 (土)
会場：同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

* **【お知らせ】** 2025 年度中国・四国支部研究発表会

日時：2025 年 11 月 15 日 (土) 13:00-
開催形態：オンライン

(1) 視聴される場合は事前申し込みが必要です。【締め切りは 11 月 5 日 (水)】です。ご希望の方は以下の内容をメールにてお知らせください。3 日以内に返信がない場合は、恐れ入りますが再度ご連絡をお願いいたします。

●お名前 (ふりがなをつけてください) ●ご所属 ●連絡用メールアドレス

参加申し込み、お問い合わせはメールにて garagonokaoka あつとまーく icloud.com (あつとまーく を @ に置き換えてください) までお願いいたします。

(2) 支部の連絡はメールでお送りしていますが、一部こちらからのメールが届かない方がいらっしゃいます。とくに、所属機関のアドレスを登録されている方の一部に所属の変更や機関外のドメインを拒否する設定になっている等で届かない方もいらっしゃるようです。今年度まだ一度も中国・四国支部からのメールを受け取っていない方は、【学会 HP の 会員サービス→問い合わせ→入退会・会員情報変更について】からお問い合わせください。

支部長 轟木 靖子

九州支部

* **【お知らせ】** 第 38 回九州支部大会

日時：2026 年 1 月 24 日 (土) 13:00-
場所：鹿児島国際大学 (鹿児島市)

- ・発表申込：2025 年 11 月末日までに九州支部の八尋まで (下記アドレス宛) ご応募ください。(yahiro [アットマーク] seinan-jo.ac.jp)
- ・氏名、所属、発表タイトル、10 行程度の発表概要を記載して下さい。

- ・申し込み時点で会費の滞納がないことが発表資格になります。
- ・パワーポイントでご発表の方はパソコンをご持参ください。・大会参加費：2,000円

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 風早 悟史

○会員情報更新のお願い：住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越しの際には、忘れずに会員調査書（＝入会申込書）に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

〈日本比較文化学会ウェブサイト 入会・会員情報変更〉 https://hikakubunka.jp/?page_id=97
〈入会申込書・会員調査書送付先〉

あゆみコーポレーション（業務委託先） hikakubunka [アットマーク] a-youme.jp

○会費納入のお願い：会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納（学生会員については1年以上）の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

〈会費振込情報〉 郵便振替口座：02570-6-8921

加入者名：日本比較文化学会

振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。

《2024年度決算・2025年度予算報告》

2024年度日本比較文化学会 決算		
科 目	2024年度予算	2024年度決算
I 収入の部		
1、資産運用収入		
利子	160	210
2、会費収入		
一般会員	2,810,000	2,828,000
賛助会員	30,000	20,000
3、事業収入		
『比較文化研究』配布収入	6,000	0
4、寄付収入		
寄付収入	0	0
5、その他	0	0
当期収入合計(A)	2,846,160	2,848,210
II 支出の部		
1、大会開催関連費		
第46回大会費	350,000	350,000
2、支部運営補助費		
支部運営補助費	70,000	70,000
3、『研究』発行費		
編集補助費	655,000	520,000
発送費	800,000	614,810
4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	150,000	0
5、提携学会交流費	100,000	30,134
6、管理費		
事務局費	20,000	1,110
交通費	50,000	10,990
通信費	4,000	0
業務委託費	420,000	383,308
会議費	12,000	0
印刷費	5,000	0
HP管理維持費	52,000	54,269
『会報』編集補助	27,000	27,310
手数料(振込み等)	56,000	53,504
7、予備費	200,000	12,000
当期支出合計(B)	2,971,000	2,127,435
当期収支差額(A)-(B)	-124,840	720,775
前期繰越額(C)	7,147,987	7,147,987
次期繰越額(A)-(B)+(C)	7,023,147	7,868,762

2025年度日本比較文化学会 予算		
科 目	2025年度予算	
I 収入の部		
1、資産運用収入		
利子	1,000	
2、会費収入		
一般会員	2,863,000	
賛助会員	30,000	
3、事業収入		
『比較文化研究』配布収入	6,000	
4、寄付収入		
寄付収入	0	
5、その他	0	
当期収入合計(A)	2,900,000	
II 支出の部		
1、大会開催関連費		
第47回大会費	350,000	
2、支部運営補助費		
支部運営補助費	70,000	
3、『研究』発行費		
編集補助費	655,000	
発送費	800,000	
4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	150,000	
5、提携学会交流費	100,000	
6、管理費		
事務局費	20,000	
交通費	50,000	
通信費	4,000	
業務委託費	1,290,000	
会議費	12,000	
印刷費	5,000	
HP管理維持費	52,000	
『会報』編集補助	27,000	
手数料(振込み等)	56,000	
7、予備費	200,000	
当期支出合計(B)	3,841,000	
当期収支差額(A)-(B)	-941,000	
前期繰越額(C)	7,868,762	
次期繰越額(A)-(B)+(C)	6,927,762	